

システム情報科学府 学生経済支援制度一覧

2022年2月現在

	制度名	対象	支援期間	支援金	特徴的なカリキュラム・活動・支援等	特徴（どのような学生に向いている等々）	備考	募集時期	実施年度
1	先導的人材育成フェローシップ事業（情報/AI分野）	システム情報科学府博士後期課程学生 ・社会人学生（現職、元職を問わず）の申請も可。ただし、現職の社会人学生で所属企業等に十分な生活費相当額を受給する制度がある場合は対象外 ・国費外国人留学生制度、母国からの奨学金等の支援を受けている者は不可 <i>※詳細は募集要項確認のこと</i>	3年間 (博士後期課程1年～3年)	研究専念支援金：年間240万円【月額20万円】 研究費：年間10万円（上限） 研究促進費（研究費）：年間40万円（上限）	【研究力向上・キャリアパス支援に向けた取組】 ・様々な学術分野の参加者からなる「分野横断型勉強会」に参加できる（各分野における情報・AI技術の最先端の利活用状況を学べる） ・著名研究者・事業者等を招へいして行う「キャリアパス拡大講演会」に参加できる（多様な分野や業種における研究・開発・会社運営の方法論を学べる） 【キャリアパス確保に向けた取組】 ・企業およびアカデミアでの経験豊富なメンターより定期的なアドバイスを受けられる ・国内企業・研究所および海外インターンの体系的支援を受けられる	博士後期課程で研究を深めたいと考えているが、経済面（学費・生活費の負担）や学位取得後の進路（就職）に不安があるという学生に向いています。研究専念支援金は正に研究に専念できるだけの経済的支援ですし、キャリアパス拡大・確保に向けた取り組みも準備されています。	システム情報科学府 先導的人材育成フェローシップ事業（情報/AI分野）Webページ 【日本語】 https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/DC_fellowship.html 【English】 https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/e/DC_fellowship.html	【4月入学予約採用】 募集期間：前々年度11月～12月頃、 選考会：前々年度1月頃 【4月入学採用】 募集期間：1月～2月 選考会：3月頃 <i>※注）応募対象に違いあり</i>	令和3年度入学者 から 令和7年度入学者まで
2	マス・フォア・イノベーション卓越大学院	システム情報科学府 博士前期課程(修士課程)学生 博士後期課程学生	博士前期課程2年間 (博士前期課程1年～2年) 博士後期課程3年間 (博士後期課程1年～3年) 希望者対象 プログラム在籍中 (博士課程5年間)	【令和3年度】 授業料支援：年間54万円 【令和4年度～】 ・卓越奨励金：年間535,800円 ※授業料免除申請と併用可 【令和3年度】 授業料支援：年間54万円 教育研究支援経費：年間120万円(月額10万円) 【令和4年度～】 ・卓越奨励金：年間1,864,200円 (DC採用者、社会人博士課程制度適用者は除く) ・授業料支援：年間535,800円 ※授業料免除申請と併用不可 ・TA、RA給付、採用による支援(教育研究支援経費を受給する学生は合計20万円を超えての支給は無し) ・留学、インターンシップ等に係る旅費及び滞在費の金額または一部を負担	【分野横断型プログラム】 ・他分野の研究室において数学モデリングに必要な知識を取得し、さらにその手法を用いた課題解決を目指し共同研究を行う事ができる 【卓越社会人博士課程制度】 ・修士終了後に企業採用されながら同時に社会人学生として博士後期課程へ進学でき、博士号を取得できる 【マルチメンター制度】 ・教員やポスドクのみならずメンターとして登録された海外連携機関や民間企業の担当者からの指導を受けられる	産業や科学研究などに数学や数理的手法を活用することに興味があり、博士学位の取得を目指す学生に向いています。本大学院では、数学の基礎力の強化と、応用分野での実践教育を行います。経済的支援をもちろんのこと、博士学位取得後の進路についても、企業へのパスを含む様々な支援策を用意しています。	マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム https://www.gpmi.kyushu-u.ac.jp/ ※英語版HP準備中（近日公開予定）	※2022年4月 マス・フォア・イノベーション連携学府開設 【出願書受付】 前年度1月下旬 【書類審査】 前年度2月中旬 【面接】 前年度2月下旬	プログラムとしては 令和3年度入学者 から 令和8年度入学者 まで
3	次世代研究者挑戦的研究プログラム	博士後期課程学生 (令和3年度在籍学生から) (令和3年度秋入学者も対象) JSPS特別研究員、240万円以上の安定的収入がある者、国費留学生等は不可	最大3年間	研究奨励費290万円/年 (生活費相当額最大240万円/年、研究費年間最大50万円/年)	分野の枠組みを超えた学生が博士課程「未来創造コース」に所属し、必修科目としての「創発科目」、「リサーチプロポーザル」、選択科目としての院生融合プロジェクトをはじめとするさまざまなキャリア開発・育成コンテンツを履修することで、個々の学生による活動だけでは実現できない分野横断型の問題発見力、研究提案力、研究遂行力、トランスファラブルスキル、国際性、アントレプレナーシップ、レジリエンスの養成や、多様なキャリアパスの形成を目指すことができる	経済的、キャリアパス支援を受けることで、全分野横断型の博士コースに在籍し、主体的に創造的・融合的研究に専念・挑戦したい学生に向いています	・九州大学次世代研究者挑戦的研究プログラムWebページ https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/education/nextgen ・JSTWebページ https://www.jst.go.jp/jisedai/outline/index.html	年2回予定 (4月入学、10月入学者向け)	令和3年度～令和7年度 (学生への支給は令和3年10月分～)
4	早稲田大学パワー・エネルギー・プロフェッショナル育成プログラム（卓越大学院）	システム情報科学府 電気電子工学専攻 修士課程および博士後期課程学生	修士課程2年間 博士後期課程3年間 計5年	連携機関や企業等との共同研究等に参画することにより 研究代表者等である指導教員等から卓越RA費を受給することができる。（社会人編入者は対象外）	連携13大学（北海道大学、東北大学、福井大学、山梨大学、東京都立大学、横浜国立大学、名古屋大学、大阪大学、広島大学、徳島大学、九州大学、琉球大学、早稲田大学）による5年一貫の博士人材育成プログラムである。 卓越必修科目（7科目10単位）が早稲田大学に設置され、それ以外の卓越専門選択科目等は自らの所属する大学の研究科・専攻に設置される。早稲田大学に設置される卓越必修科目の履修にあたっては、オンデマンド形式、集中合宿形式、学外連携先実習の形態で実施し、連携12大学学生にも配慮した設計となっている。連携機関や企業等との共同研究への従事により、RA費などを各大学で支援。 早稲田大学学生以外の本プログラム生は、早稲田大学では大学院交流学生の学籍にて履修	博士号を取得し得る新しい電気エネルギー分野で活躍することを希望する学生	・文部科学省 卓越大学院プログラム「POWER ENERGY PROFESSIONALS」Webページ https://www.waseda.jp/pep/support/	1月頃	平成30年度～令和4年度
5	先導的人材育成フェローシップ事業（マテリアル分野）	システム情報科学府 電気電子工学専攻 博士後期課程学生 ・社会人学生（現職、元職を問わず）の申請も可。ただし、現職の社会人学生で所属企業等に十分な生活費相当額を受給する制度がある場合は対象外 ・国費外国人留学生制度、母国からの奨学金等の支援を受けている者は不可 <i>※詳細は募集要項確認のこと</i>	3年間	【令和3年度】 研究専念支援金：年間220万円 研究費：年間70万円（上限） 【令和4、5年度】 研究専念支援金：年間240万円【月額20万円】 研究費：年間10万円（上限） 研究促進費（研究費）：年間40万円（上限）	・本学の教員と学生、企業が参画する教育研究活動の場である「オープンサイエンスプラットフォーム」(OSP)に参加してもらい、課題設定・研究提案を企業とアカデミックの両面から意見をえながら進めることで、プロジェクトベース学習を体験し、学生。 ・OSPの手法は企業からも高い評価を受けた同分野システムデバイス科学センターのGRPをモデルにしています。学生への経済的支援とキャリア支援を一体的・恒常的に行える仕組みです。 ・国内企業・研究所および海外インターンの体系的支援を受けられます。	・化学材料・エレクトロニクス材料・生体材料などのマテリアル分野やデータサイエンスの研究を行う博士課程学生で、グループリサーチなどスキルも習得したい学生。 ・分野融合型研究に興味がある学生。課題、ニーズ、シーズ、データなどを互いに持ち寄り、それらを共有し検討する事で、市場価値のある新たな基礎研究のアイデアを創出し、産学官連携により問題解決に繋げる取組み(OSP)に実際に参加できる。	九州大学工学部等教務課 分子システムデバイスコース担当 電話 092-802-2911 E-Mail: office@molecular-device.kyushu-u.ac.jp	募集期間：前年度10月頃、 選考会：前年度1月頃	令和3年度入学者 から 令和7年度入学者まで
6	特別研究員 日本学術振興会	①特別研究員DC1：博士後期課程1年 ②特別研究員DC2：博士後期課程2年以上 ※いずれも採択年度の4月1日時点	①特別研究員DC1：3年間 ②特別研究員DC2：2年間	研究奨励金：20万円/月 科研費：150万円以内/年度			日本学術振興会Webページ https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html 科研費Webページ https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/20_tokushourei/index.html	3月～5月頃	毎年実施
7	九州大学大学院研究支援奨学金	①学振DC1に申請した本学の博士後期課程に進学を希望する本学府の修士課程の学生 ②学振DC2に申請した本学府の博士後期課程1,2年次の学生	1年間	年額：25万円/一括支給			システム情報科学府Webページ 博士後期課程のご案内、経済支援の奨学金に掲載あり https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/doctor.html	6月頃	毎年実施

※注）1～6の重複受給は不可。